

研修先 施設紹介

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST 病院



QST 病院では、重粒子線がん治療のパイオニアとしてこれまでの約 30 年間で 16,000 例を超える治療を実施し、前立腺癌、頭頸部癌、膵癌、肝癌、骨軟部肉腫、など複数の疾患の保険適用に繋がる成果を生み出してきました。

当院の大きな目標として、重粒子線がん治療の有効性を検証し、多くの疾患に対する重粒子線治療の保険収載を目指すこと、そしてこの治療技術を国内外に普及させることがあります。現在の研究開発の柱として、治療装置のさらなる小型化と治療効果の最大化を目指した量子メスプロジェクトを実行中です。治療効果の最大化のために炭素イオンだけでなく、酸素イオンやヘリウムイオンなど複数のイオンを組み合わせるマルチイオン照射法を開発し、臨床試験が開始されました。また、小型の超伝導重粒子線加速装置、いわゆる量子メスの建設も開始されました。

QST 病院としてのもう一つの新たな取り組みは、QST の量子科学技術研究で創出された研究成果を臨床応用へと橋渡しする研究を実践することです。がん以外の疾患に対する重粒子線治療、RI 内用療法、PET イメージングなどの新規開発研究結果から QST 病院外の組織・グループと共同で実施する前臨床研究、および臨床試験を慎重に、かつ強力に推進し、将来の臨床応用に展開するための基幹病院として貢献してまいります。

QST 病院ウェブサイト : <https://hospital.qst.go.jp/index.html>

QST 採用情報 : <https://job.axol.jp/qd/c/qst/public/top>